

「第92回メーデー和歌山県中央集会」等を中止

「第92回メーデー和歌山県中央集会」をはじめとする県内5か所の集会是、当初、感染防止対策を講じた上で開催に向け準備を進めておりました。

しかし、4月以降の急速な新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、昨年に引き続き集会の中止を決定致しました。

なお、本メーデーについては、「第92回和歌山県メーデー宣言(案)」を本紙に掲載のうえ、構成組織の皆様が発信することにより、宣言の採択を行ったものとし、これをもって「第92回メーデー」の実施に代えることと致します。

実行委員長 挨拶

第92回メーデー和歌山県中央実行委員会 実行委員長
連合和歌山 会長 池田 祐輔

残念ながら、昨年に続き「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、「第92回メーデー和歌山県中央集会」を中止とさせて頂きました。

昨年の同時期も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大事をとって中止とさせて頂きましたが、その状況が1年を経過した現在も、改善されていないとは、よもや想像も出来ませんでした。

これまでの間、そして現在も大変厳しい状況にある、医療現場の最前線で頑張っている医療従事者や、関係者の皆様には、心より敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

また、新型コロナウイルスに感染された方々へ、お見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々とご家族に対しましては、衷心よりご冥福を申し上げます。

改めてこの1年を振り返ってみますと、世界中が新型コロナウイルス感染症拡大によるパンデミックに陥り、我が国においては、予定されていた「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が1年延期され、本年7月23日からの開催が予定されているものの、新たな変異株の出現により、予断を許さない状況が続いています。

そして、働く環境という意味では、禍を転じて「働き方改革」が大きく前進した1年と言えますが、一方で多くの方が職を失い、その結果、経済的に弱い立場の方の自殺率が上昇するという、厳しい現実を突き付けられています。

この様な状況は、昨年段階で十分想定出来たことであり、困っている人や社会的弱者に対して、速やかに救済の手立てを講じなければならないと、これまでも強く訴えて参りましたが、一連の政府の対応は後手後手と言わざるを得ず、とても納得の出来るものではありません。

とりわけ、今年は「第49回衆議院議員総選挙」が、必ず実施される年であり、連合和歌山の推薦候補者として、「第1区・岸本周平氏」「第2区・藤井幹雄氏」の両名を、早々に組織決定していますが、我々の代表を一人でも多く国政へ送り出し、二大政党制を実現するための足掛かりとなる選挙戦でもあります。

1区・2区ともに厳しい戦いになることは、想像に難くありませんが、緊張感のある政治を取り戻すためにも、それぞれの組織の総力を結集して、更に力強いご支援を賜ります様お願い致します。

まだまだ、コロナ禍という厳しい状況が続きますが、この時代を負の歴史として残すのではなく、今だからこそ出来る新たなスタイルを創造し、アフターコロナでは、既存のスタイルとハイブリッドし、より良いスタイルを構築することで、歴史をプラスに転じなければなりません。

連合和歌山は、引き続き「新型コロナウイルス感染症」の早期終息と、全ての働く仲間の安心と安全確保に向けて、全力で取り組みを展開して参ります。

結びにあたり、連合和歌山に集う全ての仲間が心をつなぐに合わせ、自覚と責任のある行動を取り、パンデミックを乗り越え、来年こそ「第93回メーデー」が無事に開催出来ることを心から祈念し、「第92回メーデー」の挨拶とさせて頂きます。

ともに頑張りましょう。



第92回和歌山県メーデー宣言(案)

日本における初のメーデーから100年の節目であった昨年、そして今年。新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのような数多くの仲間が同じ場所に結集することが叶わない状況が続いている。

しかし、労働の尊厳を称えるメーデーの意義は不変であり、世界の多様な働く仲間が、時間や場所を超えて思いを結集し、声を上げていこう。

東日本大震災、あの未曾有の大惨事から10年が経った。災害で無念にも尊い命を失った方々、困難な状況の中でも懸命に前を向き、歩みを進めている方々に今一度思いを寄せたい。復興はいまだ道半ばであるが、時間の経過とともに災害の記憶や教訓は薄れつつある。他方、自然災害の脅威は、幾度となく私たちの暮らしを脅かし続けており、改めて10年前に起こった出来事に向き合い、着実な復興・再生と、防災・減災の社会づくりに取り組んでいかなければならない。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ世界中で猛威を振るっており、多くのかけがえのない命を奪い、私たちの生活・雇用・経済に多大な影響をもたらしている。日々感染の危険と隣り合わせにしながら、私たちの命と生活を懸命に支え続けている数多くの働く仲間がいることを決して忘れず、すべての働く仲間の奮闘を称え、感謝の気持ちを表そう。

また、コロナ禍は、社会の脆弱さとひずみを明らかにした。私たちは、企業規模間、雇用形態間などの格差は正に向けて分配構造の転換に取り組むとともに、社会にはびこる偏見や差別、誹謗中傷に毅然と立ち向かい、多様性を認め合う社会づくりを力強く進めて行く。この思いを、すべての構成組織の皆様とともに確認し、発信していこう。

国際社会においては、自由で民主的な社会の侵害という、断じて許されない事態が起きている。永らく民主化を支援してきたミャンマーにおける、国軍クーデターと多くの犠牲者を出している市民への弾圧に対し、私たちは強く抗議する。また、新型コロナウイルス感染症のワクチンを巡る偏狭なナショナリズムの動きを看過することはできない。人類共通の脅威に対し、世界がひとつになって協力していくことを望む。

SDGs(持続可能な開発目標)を世界で推し進め、誰一人取り残されることのない社会、地域の実現に向けて、国際労働組合総連合(ITUC)と連帯し、各国政府に対して国際協調の精神にもとづく行動を求めていく。

今こそ心をひとつに、分断から連帯へ。支え合い・助け合いと共生の社会の実現を。私たちが先頭に立って働く仲間をまもり、笑顔のために感謝と思いやりの絆をつなぎ、希望あふれる未来を切り拓いていくことを、ここに宣言する。



▲和歌山県のご当地ユニオニオン(みかん)

2021年4月25日
第92回メーデー和歌山県中央実行委員会
有田・御坊日高地域協議会メーデー実行委員会
田辺・西牟婁メーデー実行委員会
新宮・東牟婁メーデー実行委員会
連合和歌山紀北地方メーデー実行委員会